

**令和5年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和5年12月  
海老名市立大谷中学校**

令和5年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

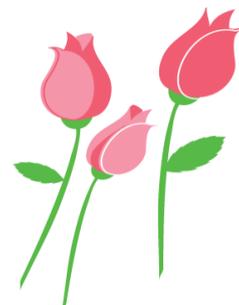
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和5年4月18日(火)

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



# 中学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的をもってインタビューをする場面において、知りたい情報に合わせて質問する内容を検討したり、聞き取ったことを基に目的に沿って自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて複数の文章を読む場面において、行為、心情を表す語句について理解したり、表現の効果について考えたり、叙述を基に捉え要旨を把握したり、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。
- ・調べたことなどをレポートにまとめて書く場面において、読み手の立場に立って文章を整えたり、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書いたりすることができるかどうかをみる。
- ・古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んだり、古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えたりすることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 「読むこと」の領域に優れています。文章を比較しながら表現の特徴について考える力や、長い文章を要約する力に成果がみられました。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、聞き手として円滑にインタビューを進めるための表現を考えたり、効果的に質問するために必要な準備を考えたりと、より良いインタビューを行うために工夫する力の向上がうかがえました。

### ◆課題のある点

- 「書くこと」に関する力に弱さがみられます。文の一部を直す意図を考える力や、自分の考えを書く力に課題がみられました。
- 言葉の特徴や使い方に関する事項では、漢字を正しく書く設問や、言葉の意味を正しく理解する設問に課題がみられました。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章を書く際に、常に読み手の立場に立った表現や叙述を工夫し、客観的な視点を意識する習慣をつけさせる指導を心掛けていきます。お互いに文章を読み合い推敲していく中で、より良い表現の仕方を見つけ、自分の文章を見つめ直す機会を増やすなど、指導を工夫します。
- 文字の成り立ちや歴史的背景に触れつつ、漢字一つ一つが持つ意味についても考え、文字文化の豊かさに興味・関心を持てるよう指導していきます。

# 中学校 数学

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・事象を数・量・図形等に着眼して観察したり、事象の特徴を的確に捉えたり、理想化・単純化したり、情報を分類・整理したりすることができるかどうかをみる。
- ・問題解決に向けて解決の方針を立てたり、筋道を立てて考えたり、方針に基づいて解決したり、事象に即して解釈したことを数学的に表現したり、数・式・図・表・グラフなどを活用したり、数学的に表現したことを解釈したり、解決の結果を数学的に表現したりすることができるかどうかをみる。
- ・数学的な結果を解釈したり、必要な情報を選択し判断したり、解決の過程や結果を批判的に考察したり、解決の過程や結果を振り返り評価・改善したり、統合的・発展的に考察したり、事象を多面的に見たりすることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 「数と式」の領域が優れていました。基礎的・基本的な計算技能は身に付いています。また、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができていました。
- 「図形」の領域が優れていました。特に、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができていました。

### ◆課題のある点

- 「データの活用」の領域では、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられました。
- 「関数」の領域では、反比例の意味の理解に課題がみられました。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 四分位数、箱ひげ図の意味や概念について丁寧に指導し、基本的な学習内容を生活場面と結びつけながら生徒同士で対話的に学べる場面を作るなど、問題に主体的に取り組ませ、確実な定着を図ります。
- 数学的な知識や技能を習得させることだけでなく、事象を数学的に捉え解釈する力、数学的な表現を用いて説明する力などが養われるよう指導することを心がけていきます。

# 中学校 英語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できるかどうかをみる。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 「聞くこと」の領域に優れています。ある状況を描写する英語を聞き、正確に聞き取ることができていました。
- 「読むこと」の領域では、事実や考えが書かれた英文を読み、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読みとることができていました。

### ◆課題のある点

- 「書くこと」に関する力に弱さがみられます。社会的な話題に関する英文を読み、根拠をあげて自分の考えを書くことに課題がみられました。また、日常的な話題について事実や自分の考えを整理した上で、まとまりのある文章を書くことにも課題がみられました。
- 初めて実施された「話すこと」調査では、英語を使って表現すること全般の力に弱さが窺えました。特に、社会的な話題に関する情報を聞き、それに対する自分の考えを理由をつけて話すことに課題がみられました。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 日ごろから社会的な話題を授業の中に取り入れ、考えたことを英文化する機会を増やすよう心掛けていきます。また、文章を書く際にマッピング等を用いて事実や自分の考えを整理し、伝え手の意図がはっきりと伝わるまとまりのある文章を書くことができるように、指導を工夫します。
- 「話すこと」においても「書くこと」と同様に、社会的な話題について考え、自分の意見を述べられるよう、言語活動の工夫を図ります。

# 生徒質問紙

※「肯定的な回答」とは、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」との合計  
※（ ）内は、該当する質問の全国の数値

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

○「自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の問いでは肯定的な回答が 89.3%(72.6)、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」では、81.5%(62.1)と高い割合でした。課題解決的な学習に取り組み、調べたり考えたりしたことを、他者意識を持って発信しようとしています。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」への肯定的な回答は 72.0%(69.2)、「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」では、66.0%(69.9)という結果でした。学習活動を振り返って着実に改善していくことや、学んだ内容を他の学習や活動に活用して学びを広げたり深めたりすることに課題が見られます。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いでは肯定的な回答が 86.3%(81.8)、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では 89.7%(88.4)と、比較的高い割合でした。他者の多様な考えを柔軟に受け入れ尊重しながら、学校生活における様々な活動を楽しみ、体験を通して成長していこうとする意欲の表れと捉えられます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに肯定的な回答は 77.4%(80.0)、「将来の夢や目標を持っていますか」では、58.3%(66.3)という結果でした。自分なりの夢や目標を定め、困難を乗り越え、達成に向けて粘り強く取り組んでいこうとする気持ちを持つことや、その中から自分を客観的に捉える力を養うことが望まれます。

## 今後の具体的な取組について

○単元や題材を通して付けたい力をわかりやすく提示し、教科横断的な学びを意図的に進め、主体的に学習しようとする意欲の向上を目指した指導に努めます。「学びが世の中とつながっているか」という視点から、学習内容が普段の生活にどう生かせるかを考えるなど、日常生活や社会とのつながりを意識した活動を進めていきます。

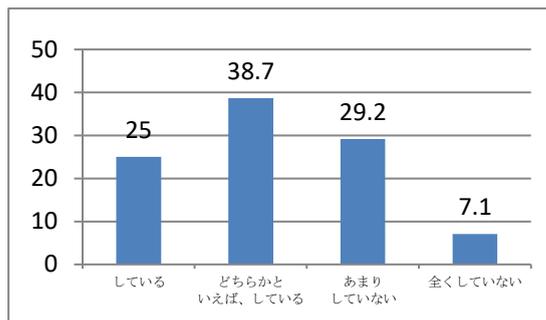
○学校での多様な活動における成功体験を、各々が自己肯定感を高める契機とするとともに、失敗した経験からも多くのことに気づき、成長する機会となるよう、行事等を効果的に計画していきます。集団の中で一人ひとりの活動が相互に認められるように、指導・支援に努めます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

## 1 生活習慣を整えましょう。

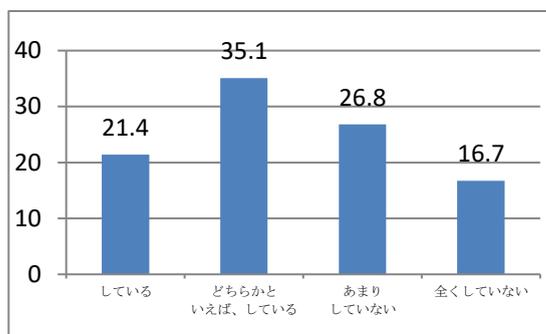
十分な睡眠が翌日の活力となり、充実した活動を支えます。寝る時間の目安を決め、それが習慣として定着するよう心がけましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

## 2 主体的に学習する姿勢を高めましょう。

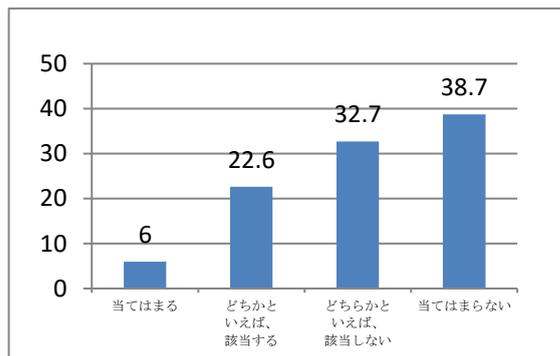
与えられた課題や決められた事柄に取り組む受け身の姿勢から、自分で見通しを立て、粘り強く学ぶ姿勢をさらに高めましょう。



自分で計画を立てて勉強をしていますか

## 3 地域や社会に目を向ける機会を持ちましょう。

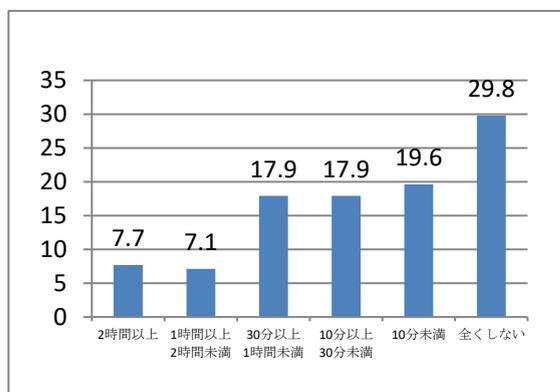
地域や社会の一員として人と関わった経験は、役割意識や自己有用感の向上に発展します。災害時等の助け合いにも生かされるでしょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

## 4 読書をする習慣をつけましょう。

読書を通して豊かな表現に触れることが、語彙の質や量の充実につながり、対話的な学びによる思考力や表現力の向上を支えます。



学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらい読書を読みますか

## 文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

### 1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

### 2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

### 3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

### 4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

### 5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

### 6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

## 海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、  
えびなっ子ひとりひとりの  
学びを保障する教育をめざします**



### 3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

#### ①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】  
電話 046-235-4919  
海老名市教育委員会教育支援課 指導係